

大町病院を守る会会報

No. 34
2014年9月発行
大町病院を守る会
発行責任者北村喜男

新任職員 37 名の歓迎会開催

病院開設以来大勢の職員を迎い入れ



7月11日、黒部観光ホテルにおいて新任職員37名の歓迎会が80名あまりの出席者を得て盛大に開催されました。歓迎会は守る会と大町病院の共催で行われ、北村喜男会長が開会のことばを述べ、山田博美事業管理者が歓迎の挨拶を述べました。続いて来賓の牛越徹市長（病院開設者）諏訪光昭県議、市議会議長代理 二條孝夫副議長がそれぞれの立場から激励とお祝い、歓迎のあいさつを述べられ、勝野富男市議会社会厚生委員長の乾杯で始まりました。今年はこれまでになく多くの新任職員を迎えることができ、大町病院と守る会が環境整備に力を注いだ効果が表れたものと見ることができます。



北村会長が開会にあたって挨拶（要旨）

大町病院の職員となりました皆さんに大町病院を守る会について簡単に紹介します。守る会は、地域医療を取り巻く厳しい環境の中で市民の命を守る、大町病院の存続のために市民ができることを応援しようと立ち上がった組織です。病院のお手伝いや周辺環境整備、医師や職員に市民の感謝の気持ちを伝える「ありがとうメッセージ」、四季の折々の医師、職員家族との交流など、小さな力ではありますが、市民の手でできることを自主的に取り組んでおります。このたび職員となりました皆様にも本会の活動に、ご理解を賜ります様お願いいたします。

皆さんが大町病院の未来を担う



新規採用職員の皆さん 野田俊輔 篠根理孝 吉澤早帆 田中嵩人 丸山亜弥 木村未可 楠直子 瀬戸口順子 千葉ひとみ 片瀬理美 田中富之 宮田のり子 上條守 村田かおり 磯貝貴弘 荒巻懐喜 川上良美 富沢雄一 高橋奈々子 高森恵 井出夏生 鈴木藍子 青木芳薫 柏原南美子 傳刀仁美 辻岡友子 原口直子 橋本昌之 相原将男 平野由莉 北澤一人 西澤良忠 小林ゆみ 続麻申子 横川修也 西澤滉太郎 田中大貴 (順不同 敬称略)

来賓の皆さん 大町市長 牛越徹 長野県議会議員 諏訪光昭 大町市議会副議長 二條孝夫 市議会社会厚生委員会委員長 勝野富男 同副委員長 太田昭司 同委員 和田俊彦 市議 竹村武人 大北医師会理事 中沢治彦 大北歯科医師会副会長 平林昭光 理事 佐藤悟 (順不同・敬称略)





大北歯科医師会副会長 平林昭光さんによる締め

新任の先生を紹介します（自己紹介）

：関口健二先生（総合診療科）



地域医療の振興を目的に、去る 2013 年 11 月、信州大学医学部附属病院に総合診療科が新設されました。その科長としての任を預かっております、関口健二と申します。長野県飯田市の出身で、大阪で 8 年間、沖縄で 1 年間、米国で 4 年間勤務した後、縁あって故郷信州に帰って参りました。

我々総合診療科は、「地域医療の充実と総合診療が実践できる医師の育成」を目標としており、大町病院とスクラムを組んで、その実現に尽力していく決意であります。大町病院では、4 月から外来診療を開始しておりますが、7 月からはいよいよ入院診療にも加わらせて頂くこととなりました。「患者さん中心の医療」を目指して、地道に真剣に、そして楽しく！大町病院スタッフや地域の皆さんとともに、取り組んでいく所存です。皆様の温かいご理解とご声援に感謝いたします。

※ 次号でも新任の先生を紹介してまいります。楽しみに

やまびこ祭りに若い力 50 人+応援団



8 月 2 日開催された大町市やまびこ祭りに井上善博院長先生、新津義文副院長先生を先頭に、大町病院連も 50 名が参加しました。参加にあたり高見町公民館ではらごしらえと発声練習をし、出かけて行きました。若い職員を中心に熱気あふれるおどり連でしたが、コンテスト入賞は逃しました。



自然観察と山菜採取、交流会

ウマ！！タケノコ汁、山菜の天ぷらに舌鼓

6月1日、大黒町の皆様のご協力を得て守る会は病院職員との交流会を自然観察・山菜採取を兼ねて大黒町有林を散策しました。自然観察員の清沢由之さんの案内と指導により1時間半ほどで沢山の山菜を採取することができました。その後病院へ戻り、会員の手作りによる山菜料理を囲んで、交流会を開催。山菜料理は、会員から寄せられた沢山の種類の山菜を素材にてんぷら、お浸し、あえ物、タケノコ汁などが調理され、井上善博院長先生の発声で乾杯し、交流が持たれました。参加者は40名でした。



出発にあたり説明をする清沢由之さん



料理に精を出す守る会の役員



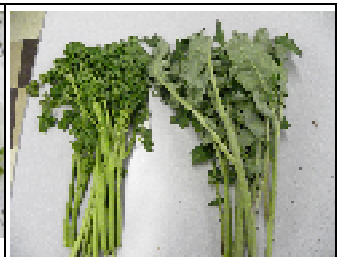
行者ニンニクとウド



山菜の王様ウドブキ



根曲がり竹とタラの芽



山菜のてんぷら



関口健二先生、講師ありがとうございました 長妻正浩先生お元気で。21人が集まる



6月13日（金）夕方から市内で、5月11日に行われた守る会公開講演会の講師を務めていただいた関口健二先生への感謝と慰労、合わせて、長妻先生の異動に伴う送別会が開かれました。北村会長から関口先生の講演への感謝の言葉と、長妻先生の若さと情熱のこもった医療活動に感謝の言葉が述べられました。牛越市長も関口先生への歓迎と感謝の言葉を述べられ、同じ隣組に住んでおり親しいお付き合いをしていた長妻先生に感謝と大町病院へ帰ってきていただきたいとのエールが送られました。井上院長先生の発声で乾杯し宴は進みました。また、この会には新たに会員になることになった、北原さんと、山口さんが駆けつけていただき、大変盛り上がった会となりました。

井上善博院長先生、高木哲副院長先生、牛越徹市長、二條孝夫市議会副議長、北村会長、松澤副会長、塩原事務局次長、種山事務局長、黒岩・江津・清水・神社幹事、宮脇事務長、勝野企画室長、北澤庶務課長はじめ職場や地域から小出、北原、山口、高橋が参加しました。

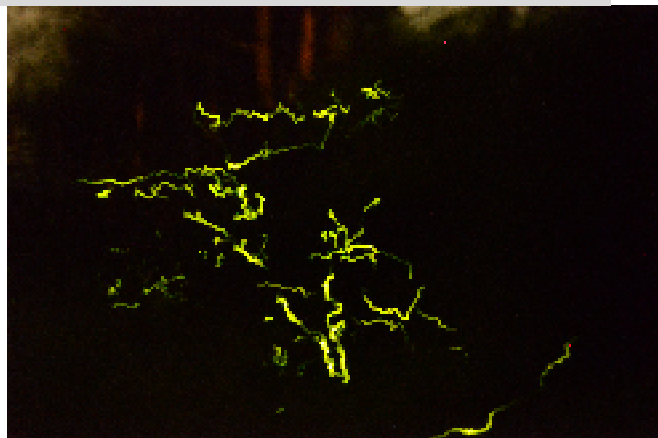
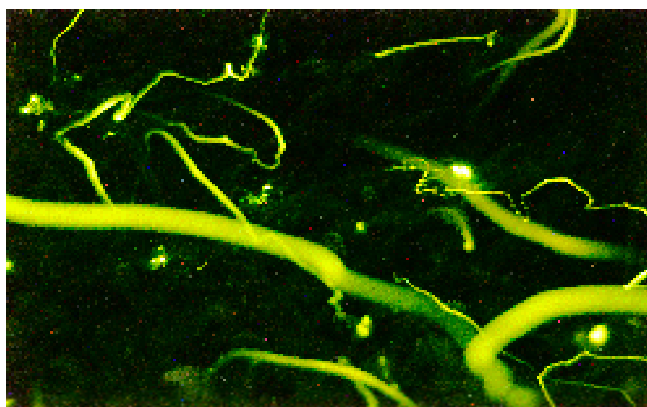
芦原先生、山下先生と「破碎ロック」で一杯

7月3日、高木哲副院長先生、前期研修医山下裕騎先生、後期研修医芦原典宏先生、守る会高橋事務局次長が連れだって串カツを頬張りながら、名店街で懇親を深めました。黒四ダム建設当時（昭和31年7月～38年6月まで）、トンネル工事で働く人たちが、大町市内で飲んだといわれている名物「破碎ロック（赤ワイン+焼酎）」を傾けて、懇親を深めました。その後、市内某所で会員のご厚意により、日本酒の試飲と、青笹にくるまれた市内の名菓「導明寺」を美味しく頂きました。大町自慢の酒と菓子のコラボで時が過ぎるのを忘れ、有意義なひと時を過ごしました。



高瀬川ホタル観賞会に先生方をご案内

↓【写真撮影：藤井勝さん】



守る会会員も多数加盟して活動をしている高瀬川ホタルの里保存会（会長北沢学さん）が主催したホタル観賞会に、高木哲先生、関口健二先生一家、研修医の芦原典宏先生、山下裕騎先生をご案内し、観賞いただきました。今年のホタルの里は昨年を上回る蛍の発生がみられ、最盛期には蛍がわき出るよう発生、乱舞、観賞者を感激させました。観賞期間中の参加者は約2,000名に上りました。来年も実施予定です。皆さん奮ってご参加ください。※「高瀬川ホタルの里」は市内常盤上一地籍です。

地引網と森城址散策交流会は台風の影響で中止に

8月10日、守る会主催で行われる予定であった、木崎湖での地引網と森城址探訪、職員との交流会は台風11号の影響で中止となりました。守る会では成功に向け実行委員会を結成、成功に向けた話し合いを進め、地引網、森城址（仁科神社）探訪、自然観察、スイカ割り、じゃんけんゲームなどを企画し、マスの唐揚げ、豚汁で交流を予定していました。参加希望者は80名ほどに上り来年度も企画するよう要望がだされていました。5名の先生方が家族とともに参加を希望されていました。

守る会会員の病院祭出展者会議開かれる



守る会は、7月16日夕刻から、病院2階会議室で病院祭出展者懇談会を開き病院祭の反省を行いました。

会議にはこれまで4回の祭りに参加された方や初めての方、役員など17名が参加し、反省や提言が述べられました。

狭い敷地内でのテント配置に人の流れがうまく流れるようになったこと、売り上げがますます

の成果があったことなどが述べられるとともに「出店に当たっては、病院の取り巻く状況などを自分で学びながら、客を自分で集めるよう心がけ、他力本願にならないようにしたい。」「そのためには新商品の開発や、状況にあった商品の提供が必要だ。」との意見も出され、有意義な懇談会となりました。また懇談会の後、有志が会費制で懇親会がもたれました。

お詫び：前月号（病院祭特集）でボランティア、子供と遊ぶ工作の係に佐藤淳子さんの氏名が記載してありませんでした。お詫びし訂正します。

ちょっと休憩、病院1階に来客用休憩室が設置される

大町病院の売店開店に続いて、来客の休憩室がオープンしました。これは西病棟へ行く廊下1階の北側突き当たりであり、どなたでも自由にお使いいただけます。室内には机といすが4脚置かれています。待ち合わせや打ち合わせなどにご使用ください。



昨秋、守る会が植えたアジサイの花が・・・

病院正面玄関西側の花壇に色とりどりのアジサイの花が咲きました。すでに盛りは過ぎ、暑さと多雨のため、花の色がくすんでしまいましたが、最盛期は見事な花でいっぱいになりました。

